

岡山県精神保健福祉士協会

2025年10月 (No.105)

MH S W ニュース

発行 岡山県精神保健福祉士協会・公益社団法人日本精神保健福祉士協会 岡山県支部事務局

〒710-0036 倉敷市粒浦217-2 2F 一般社団法人わたげ内

TEL: 050-3529-5651 / FAX: 050-3535-1235

e-mail: ok_mhsw@yahoo.co.jp

巻頭言

少しずつ秋らしくなってきました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。平素より県協会の活動にご理解ご協力賜り、本当にありがとうございます。

まず、法人化に向けた動きの概要です。今年度の総会で皆様から承認を得た内容を土台に、司法書士・税理士の先生方と定期的に協議・相談を行い、助言を得ながら進めていっております。進める中で新たな課題が発生し、その都度修正と対応を繰り返しております。例えば単年度収支を切り口にしても、会費収入及び支部活動協力費を上回る雑収入がある等、中長期に見ると県協会の安定運営には考えるべき点があります。また、引き受け手に苦慮する事務局機能も考えるべき点の一つと言えるでしょう。引き続き、会員全員の納得を得ることを目標に進めていきたいと考えております。皆様への発信の機会、通信やメーリングリストを通じて、になりますが、その際にはご一読くだされば幸いです。

突然ですが、『木こりのジレンマ』という寓話をご存知でしょうか。公私ともに多忙な日々を過ごし、余裕がなくつい「忙しい…」と呟いている方もおられることと思います。この寓話は、頑張って木を切っている木こりの斧が、手入れも行き届かずボロボロになってしまい作業が捗らない、ということを示唆する内容です。忙しくて斧を研ぐ時間もない、ということですが、キチンと斧を研げば効率も上がる、というジレンマです。我々、精神保健福祉士の実践に置き換えてみると、木こりの斧は「かわわり」つまり「自分自身」と言えるのではないのでしょうか。木こりの場合、斧を研いでいる間は木を切れない状態になりますが、精神保健福祉士の実践では、節目で振り返る機会を持つことで、実践を長く止める状態にならないと思います。

さて、直近で御自身の斧を研いだのはいつでしょう。県協会では、基礎コース研修、全体研修、と、自身を研鑽する機会を作っています。積極的にご参加いただき、自身の研鑽にご活用いただければ幸いです。少し恩着せがましくなり大変恐縮ですが、これらの研修は、自身の時間を削って研修委員の方々が尽力くださっているおかげでもあります。研修の際に労いや感謝を伝えることもそうですが、一人でも多くの方が研修に前向きにご参加くださることも励みになります。共に良い研修を作り上げ、良い実践を続けられるよう、一緒にやりましょう。

岡山県精神保健福祉士協会

会長 河合 宏

《研修委員会より-基礎コース研修の報告-》

1・2 年目受講者にとって今年度 1 回目となる基礎コース研修が 9 月 20 日に開催されました。今年の 1 年目受講者は 19 名で例年に比べると多い人数でのスタートとなりました。ワールドカフェで「自分が出会った現場で今私ができること」をテーマに 2 ラウンド行い、「私がこれから取り組みたいこと」を 1 ラウンド行った後に各々が対話での気づきを深めました。今回は、3 年目受講者と今年度から参加している研修委員がグループ作りに参加したことで、1 年目受講者の緊張した空気感が和み、それぞれが対話することができました。また、今年度から研修時期を遅くしたことで、新卒の方も業務など具体的に話せていたように感じました。今年度は参加人数が多く、横のつながりを大切にいただくために 4 つのチームに分かれ、1 年間研修を受講していただく予定です。

参加者同士、日々の業務上の悩みや感じていることなどをオープンな雰囲気です話ことができ、お互いに共感したり、新たな視点を知ることも多く、励みや学びになりました。

各々の業務について話をする中で、「誰のために支援を行うのか、支援者の都合に合わせた支援になっていないだろうか…」と皆で振り返る場面が多くありました。自分自身もハッとさせられるようなこともあり、改めて考えさせられることの多い意見交換となりました。

皆さんから貴重な話を聞くことができ、また横のつながりもでき、大変有意義な研修でした。

発達・相談支援事業所アクシス 河原 真恵

グループワークをすることで、同じ精神保健福祉士でも様々な現場で働いているため、自分が経験したことのない現場での話を聞くことが出来た。また、業務の中で感じている葛藤や不安も話すことで、1 年目だからこそ感じている共通の思いもあり、色々な思いを共有することが出来た。カテゴリー別で分けてしまうのではなく色々な現場の人を集めたグループにすることで、お互いの知らない部分を見ることができ、横の繋がりを作ることが出来るのではないと思う。横の繋がりができることで、病院と地域間で相談しやすい環境が出来て、患者さんの退院支援や地域から医療に繋げることが円滑になると感じた。

河田病院 仕田中 彩良



2年目の初回は5名でのスタートとなりました。岡山市障害者基幹相談支援センター平松氏に「障害者支援におけるアセスメント」についてご講義いただき、2グループに分かれて演習、意見交換、振り返りを行いました。各グループには、3年目や研修委員も加わりよい学びの時間が持て、緊張がありながらも、こじんまりとして話しやすい雰囲気が進めることができました。参加者からは「研修後は事例以外にも感じた印象やイメージが膨らんだ」「業務内では大変だとは思いますが、一つ一つを丁寧に取り組みたい」「本人の発言の本心を推測することが大切だと再認識した」等の感想が挙がりました。

アセスメントについて学生時代には勉強をしていましたが、働いていく中では意識できていなかったと思いました。事前課題では文面から患者さんがどのような方かを読み取らなければならず、難しいと感じました。普段の業務では患者さんと対面で話をして、表情や話し方、表現の仕方を自分で見ることができ、そのような非言語的な部分も患者さんのことを知る中で必要なのだと改めて感じました。また、患者さんと話す時間を多く持ちたいと思い、最低でも1日1回は病棟に行くようにしていますが、周りにも他の患者さんがいる状況で雑談をしていることが多いのが現状であり、患者さん1人1人と場を設けてじっくり話をする機会を作れていないということに気が付きました。日々、様々な業務があり、その中で患者さんとじっくり話をする時間を確保することが難しいとも感じてしまいましたが、まずは話をしないと何も始まらないということを忘れず、患者さんと話をする時間を今まで以上に大事にしていきたいです。精神保健福祉士として働き始めた時から患者さんの希望を第一に考えて支援していきたいと思っていますが、その為には今回学んだようにアセスメントをしっかりと行う必要があると感じました。生物ー心理ー社会モデルを意識しながら患者さんについて理解し、患者さんや他の支援者の方と一緒に患者さんのことを考え、支援できるようになりたいです。

倉敷神経科病院 大塚 菜央





3 年目研修では、受講者が 1 年目担当と 2 年目担当に分かれて研修の運営に携わってもらいました。事前の物品の購入や案内メールの作成などの事前準備も行ってもらいました。当日は、1 年目担当はワールドカフェに混ざって参加をしたり、2 年目担当はグループの進行や書記を担ったりしました。「運営に携わって、こんなに考えた上で研修が提供されていることがわかった」「経験年数を重ねて同じ研修に携わったことで、改めて勉強になる部分があった」という感想がありました。11 月の研修の運営にも引き続き携わっていただく予定です。

今回の研修で、私は研修委員の手伝いとして参加しました。運営側の手伝いをして思ったことは、参加者への配慮をすごくされていると思いました。参加者が学びやすく、なるべく居心地のよい環境になるように考えていました。例えば、リラックスできるように飲み物やお菓子を用意したり、長時間の研修で飽きないようにメリハリをつけた内容を意識したり、うまく休憩を取り入れたりと色々なことをされていました。研修委員の皆様の気遣いが参加者の学びの意欲につながっていると感じました。

浦安荘 大成 玲恵





《研修委員会より一全体研修の案内①一》

テーマ「効果があるのに評価されないIPSってなんだ？～リカバリー思考の就労支援の魅力と実践報告」を開催します。皆さまのご参加をお待ちしています。

令和7年度 岡山県精神保健福祉士協会全体研修

効果があるのに評価されないIPSってなんだ？ ～リカバリー思考の就労支援の魅力と実践報告～

Individual Placement and Support (IPS) は、当事者の「働きたい」という希望を大切にしながら、当事者のチャレンジを応援するオーダーメイドの伴走型個別就労支援です。大きな特徴は、①働きたいすべての当事者を支援の対象とすること、②個々の好みやニーズ、長所に合わせて仕事探しをすること、③個別支援や訪問支援を基本とすること、④実際の職場で働きながら必要なスキルを身につけることを支援するなどがあります。

本研修では日本でのIPS研究者として著名な山口創生さんにIPSについて講義をしていただき、岡山県内でIPS 実践している事業所の実践報告を行います！！

講師 山口創生 氏

(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 地域精神 保健・法制度研究部)

実践報告 希望ヶ丘ホスピタル 就労支援チーム ナリワイ

ジョブサポートセンターASUNARO(就労移行支援事業所)

日時

2025年11月30日(日)13時30分～16時
(受付 13時15分～)

場所

おかやま西川原プラザ
(岡山市中区西川原255番地)

【参加申込先】

右記のQRコードもしくは以下のe-mailをお願いします。

申し込みの際には

「お名前・ご所属・連絡先」をお知らせください。

(e-mail)

yumi-sao@mw.kawasaki-m.ac.jp



締め切り 11月27日(木)





《Zoom によるグループスーパービジョンのご報告》

(公社)日本精神保健福祉士協会(以後日本協会)中国ブロック認定 SVR によるグループスーパービジョンの見学会が8月27日に日本協会構成員を対象に開催されました。

自己研鑽の柱の一つであるスーパービジョンを身近に感じてもらう取り組みとして試行的に実施するものです。中国ブロックの認定 SVR が企画・運営し、中国5県から総数23名の方が見学会に参加されました。見学会では趣旨説明、スーパービジョンについてのミニレクチャーが行われました。その後、認定 SVR のライブスーパービジョンを見学し、参加者と感想を共有しました。この見学会に参加された方が次の体験 GSV に申込まれるとのことでした。体験会は10月と12月に Zoom で実施されます。

今後もこのような GSV の企画があれば情報提供していきたいと思います。

見学会に参加させていただき、ありがとうございました。画面越しに映る SVR の方々のやわらかい表情、頷き、ありのままを受け入れる安心感のある雰囲気づくりに感心しました。私は支援者としてのマイナスな感情は自分自身の中に閉じ込めておいた方が良いのではないかと考えていたけれど、伝え方次第ではクライアントとの関わりをより深めてくれる感情でもあることを知りました。感情をひとつひとつ丁寧に振り返り、フィードバックを受けることで『心の中のもっと奥にある気持ち』をそっと引き出されているような感覚でした。また、“対話”から自分一人では気づけなかった視点を知ることにより良い支援に繋げていくことが出来ると感じ、今後に生かしていきたいです。貴重な時間を一緒に過ごさせていただき、本当にありがとうございました。

ももの里病院 山田 桃子

《理事会の報告》

開催日時:令和7年9月5日(金) 19時~21時

開催場所: 集合 事務局 Zoom とのハイブリッド

出席者:河合・横山・奥田・矢木・堀家・木野内・山本・二宮・外山(敬称略)

協議内容(概要):

- 研修委員会より(全体・基礎コース・基幹研修Ⅰ) ○法人化 WG の動き
- 自殺防止対策事業(こころの健康相談全国統一ダイヤル)について ○広報について
- 岡山県高齢者・障がい者権利擁護推進連絡会 ○災害対策委員より
- 日本精神保健福祉士協会の動き
- 派遣・推薦・後援・周知・他機関からの協力依頼について
- 会員情報について:入会・退会希望者・会員情報の変更・会費納入 ○財務より など



《岡山県高齢者・障がい者権利擁護推進連絡協議会について》

岡山県内の高齢者・障がい者の権利擁護に関心のある専門職団体が定期的に協議をする場を持つことによって、多職種連携の円滑な実施・発展を図り、もって高齢者・障がい者の権利擁護を実現・推進することを目的とした協議会です。

岡山県司法書士会、岡山弁護士会、岡山県社会福祉士会、岡山県行政書士会、岡山県社会保険労務士会、岡山県精神保健福祉士協会の6団体が参加しています。

□主な活動内容

- ・高齢者・障がい者なんでも相談会の開催。当協会から毎月2名の相談員を派遣します。
 - ・6士業団体合同の研修会の開催(偶数月の第1土曜日の午前)。
- 年1回当協会が研修企画をします。今年度は2026年2月7日(土)担当予定です。
他の士業団体主催研修会にも参加可能です。
メーリングリストおよび通信にてお知らせしますので、ぜひご参加ください。

■高齢者・障がい者なんでも相談会

・相談会の実績

○令和7年9月6日(土) 13:00～15:00

相談件数 17件(来所15件、電話2件) 相談者 17名(来所者15名)

相談員 計39名

(弁護士4名・司法書士3名・行政書士13名・税理士2名・社会福祉士6名・
精神保健福祉士3名・社会保険労務士7名・保健師1名)

○令和7年10月4日(土) 13:00～15:00

相談件数 17件(来所13件、電話4件) 相談者 18名(来所者14名)

相談員 計38名

(弁護士2名・司法書士6名・行政書士13名・税理士1名・社会福祉士5名・
精神保健福祉士4名・社会保険労務士6名・その他1名)

・今後の開催予定／当協会からの参加者

令和7年11月1日(土)／岡山県精神科医療センター 牧野秀鏡氏

一般社団法人わたげ 外山薫氏

12月6日(土)／あすなろ福祉会 小林幸代氏

希望ヶ丘ホスピタル 奥田直輝氏

■研修会 ※申し込み不要


日時:令和7年12月6日(土) 10:00～12:00

場所:きらめきプラザ 2階 大会議室

テーマ:『 (検討中) 』

講師:未定

※駐車場は限られています。公共交通機関をご利用ください。





《新入会員の紹介》

令和7年度になり、4月から多くの方が当協会に入会してくださっています。今年度も順に新入会員の方々をご紹介します。



- 【名前】 河原 真恵(かわはら みちえ)
【所属】 医療法人 梁風会 発達・相談支援事業所アクセス
【趣味】 美味しいものを食べる、ドライブ、エレクトーンを弾くこと
【目標】 「気付き」を大切に、積極的に行動できる支援者でありたい。
笑顔と感謝の気持ちを忘れずに日々を過ごしていきたい。
【一言】 研修会等を通して多くのことを学び、また、多くの方とお会いできることを楽しみにしております。日々成長できるように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



- 【名前】 大木 蓮太(おおぎ れんた)
【所属】 就労移行支援事業所 LITALICO ワークス倉敷
【趣味】 映画鑑賞・ツーリング
【目標】 学びを実践し、日々成長していくこと
【一言】 さまざまな分野で豊かなご経験をお持ちの皆さまとの交流を通じて、多くのことを学ばせていただきたいと考えております。



- 【名前】 廣井 伸一郎(ひろい しんいちろう)
【所属】 社会福祉法人赤磐市社会福祉協議会
【趣味】 ①コーヒー屋巡り ②ランニング
【目標】 通称「にも包括」の一端を担えるよう学びを深めていきたいです。
【一言】 会員の皆さんの実践を教えていただきたいです。
よろしくお願いいたします。





《事務局からのお知らせ》

- ① 新年度となり、会員情報(氏名・所属先・郵送先など)の変更がある方は、ホームページの「入退会届、変更届について」から変更届をダウンロードし、早めに事務局へFAX・郵送・持参してください。ダウンロードが難しい方は事務局にご連絡ください。電話のみでの変更は受け付けておりませんので、変更届の提出をお願い致します。なお、退職・異動などで連絡が届かない状況になっている方もおられます。変更・退会届が提出できていないと思われる方がおられる場合は、把握されている方からの連絡もお受けしておりますのでご協力をお願いいたします。
 - ② 今年度の県協会会費(年会費2,000円)については、払込書を5月下旬に送付いたしました。すでに納付された方は重複されませんようご注意ください。郵送先1カ所につき、1枚同封しましたので、会員が複数おられる機関は払込書に納入者全員の氏名をフルネームで記載していただきますようお願い致します。
- 口座記号番号:01360-2-102523
ゆうちょ銀行:一三九店 当座 102523
加入者名:岡山県精神保健福祉士協会(オカヤマケンセイシンホケンフクシキョウカイ)
- ③ 前年度の県協会会費の納入ができていない方は、同じく上記口座への振り込みをよろしくお願い致します。また、二重払いとなる方がおられますので未納の心配がある方は事前に事務局にお問い合わせいただけると助かります。2年間の会費滞納がありますと、本人の意思とは関係なく、会員資格の喪失となりますので、ご注意ください。
 - ④ 新入職員など入会を考えておられる方がおられましたら、入会届と併せて、メーリングリストへの登録も行うよう声掛けをお願いします。なお、メーリングリスト登録についてもホームページに記載していますのでご確認ください。

【事務局連絡先】

〒710-0036 岡山県倉敷市粒浦217-2-2F

一般社団法人わたげ 内 (担当:外山)

TEL(050)3529-5651 / FAX(050)3535-1235

E-mail: ok_mhsw@yahoo.co.jp

ホームページ: <https://psw-okayama.wixsite.com/psw01>

(会員ページ パスワード: okym_psw)

